別紙４

事　業　内　容

※別紙４は全体で１０枚程度としてください。

記入用の枠の大きさは必要に応じて変更してください。必要に応じてグラフ、図表等を用いていただいて構いません。過度に文字サイズや行間を変更しないでください（基本はMS明朝１２ポイント、行間デフォルト値（１行））

１　研究開発の背景とこれまでの取り組み　　※ １は合計で２ページ以内

１（１）研究開発の背景

・自社の沿革（申請内容に関連する内容のみ）

・自社既存製品のシェア、成長率、競合他社の状況

・川下企業が抱える課題やニーズ

・市場ニーズの変化 （例：巣ごもり需要増、非接触型ビジネスの必要性）

・社会の要請　　 （例：カーボンゼロ）

・法律や制度改正　 （例：レジ袋有料化）

・世界全体の動向　　　 （例：ヨーロッパが20xxまでに火力発電廃止）

・技術以外の課題 （例：採用難、人材育成、事業承継、働き方改革）

※技術的な課題については、２（１）に詳しく記入してください。

１（２）同研究における申請者のこれまでの取り組みや関連技術（ノウハウ含む）

本研究に関連する、これまでの研究開発（または製品開発）、必要な調査や予備試験、申請者の強み等について記入してください。

　　※御社のこれまでの研究開発や強みのうち、２以降に記入する申請内容に関連

する内容のみを簡潔に記入してください。

　　・関連技術の概要と現時点の到達点

　　・関連製品の販売実績

　　・過去の採択結果、論文掲載実績等

　　・知財関係（取得済み特許等）

２　研究開発内容

２（１）研究開発の目標

本申請における研究開発の目標を、現状の状況（性能面や価格面等）と比較し、数字を用いながら具体的に記入してください。また、研究開発前後での技術等の違いやその新規性・独創性ならびに革新性がわかるように、文中に下図の比較表を用いて記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 従来技術 | 研究開発後の技術 |
|  |  |

　　※本申請書の中心となる部分です。質、量共に充実させてください。

　　※事業化目標や販売目標は、「４　研究開発の事業化計画」に記入してください。

２（２）研究開発目標達成に向けた研究項目の設定

研究開発目標の達成に向けた研究項目・課題を設定し、その課題の解決方法・実施方法を記入してください（連携体やアドバイザーがいる場合は、役割分担（誰が担当するのか）についても記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目１ |  |
| 現状の課題 |  |

・研究項目1-1

・解決方法

・実施方法

・担当機関

・研究項目1-2

・○○・・・

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目２ |  |
| 現状の課題 |  |

・研究項目2-1

・解決方法

・実施方法

・担当機関

・研究項目2-2

・○○・・・

※項目が足りない場合はコピーして追加してください。

３　研究開発スケジュール及び実施体制図

３（１）研究開発スケジュール

「２（２）研究開発目標達成に向けた研究項目の設定」に記入した研究項目ごとに研究実施スケジュールを記入してください。

（　a(加速型)は最大令和4年2月まで、b（通常型）は最大令和6年8月まで　）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月  研究項目 | 令和3年  〇月 | 令和3年  〇月 | 令和3年  〇月 |  |  |  |
| 研究項目1-1  〇〇の確立 |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目1-2  〇〇の選定 |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目2-1  〇〇の検証 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

※項目が足りない場合は適宜追加してください。

３（２）実施体制図

　研究開発の実施体制について、各機関の具体的な役割が分かるように図示してください。

|  |
| --- |
| （例示）  　　　　　　アドバイザー（市場ニーズの提供）  　　　　　　 　　　市場ニーズの提供  　　　　　　　　　 製品評価  　　　　　　　　　　　　　　　　　　 共同研究  　　　　　代表者（〇〇株式会社）　　　　　　　　　　　大学・公設試験場等  　　　（試作品の設計・製作、製品化）　　　　　　　　　　（評価試験の実施）  　　　共同研究　　　　　　　　　　共同研究  　　　　　連携企業Ａ　　　　　　　連携企業Ｂ（試作品の軽量化・小型化の担当）  　　　　（試作部材の成形の担当） |

４　研究開発の事業化計画

４（１）研究開発成果に係る製品等の概要

研究開発成果に係る製品等の名称、概要（特徴、事業者、用途等）を製品等ごとに記入してください。

以下のような内容を、数値等も用いて具体的に記入してください。

・製品等の名称

・製品等の想定されるユーザー

・機能・規格・特徴など

・知財戦略

・製品等が想定する市場規模・市場占有率

・販売戦略、販売体制（開発事業者、販売事業者名、販売方法等）

４（２）事業化スケジュール

　※事業年度は、基本的には「補助対象期間終了後」から記入してください。補助期間

と重複しても構いませんが、補助対象期間中に「追加研究」「製品等の生産」「製品

等の販売」を実施することはできません。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| スケジュール | 事業年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |  |  |  |
| サンプルの出荷・評価 |  |  |  |  |  |
| 追加研究 |  |  |  |  |  |
| 設備投資 |  |  |  |  |  |
| 製品等の生産 |  |  |  |  |  |
| 製品等の販売 |  |  |  |  |  |
| 売　上　見　込 | 売上高（千円） |  |  |  | \*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |
| 販売数量 |  |  |  | \*\*台 | \*\*\*台 |
| 売上高の根拠 |  | | | | |

※製品等が複数ある場合は、製品等ごとに記入してください

５　地域経済への効果、ＳＤＧｓへの取組み（波及効果面）

５（１）地域経済への効果

本研究の成果が地域経済にもたらす波及効果（地元企業への発注等）について記入してください。

５（２）ＳＤＧｓへの取組み

本研究の成果が、ＳＤＧｓ「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」達成に貢献する場合には、ＳＤＧｓの１７のどの目標に対して、どのように貢献するのか記入してください。

※以下の17の目標から該当するものを選び（複数可）、どのように貢献するか記入してく

ださい。国連や自治体、先行する企業等の取り組みをぜひご参考にしてください。

1 貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう

6安全な水とトイレを世界中に 7エネルギーをみんなに。そしてクリーンに

8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤を作ろう

10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを

12つくる責任、つかう責任 13気候変動に具体的な対策を

14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさも守ろう

16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう

６　専門用語等の解説

専門用語・略語等についてそれぞれ簡潔に解説してください（異業種や他分野が専門の方にも分かるように記入してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| 専門用語・略語 | 解説 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜、行を追加・削除してください。